

のせの教育の魅力を伝えていきます

教育長だより



文責 辻 新造

Vol.6
10

2025
Oct.

TOPICS

能勢に軸足を置き、地域とともにデザインしていく能勢の教育



誰もが子どもの頃、将来の夢を抱いていたのではないのでしょうか。
私自身も小学生の頃はプロ野球選手になりたいと、野球ごっこに熱中になっていました。野球選手になる夢が実現することはなかったものの、夢に向かってひたむきに努力した経験は、今でも私の大切な財産となっています。
子どもたちが夢や目標を持つことは、未来を切り拓く大きな力となります。しかし、その夢を具体的に描き、実現するためにどうすればいいのかを考える機会は、決して多くありません。
今回は、地域事業所インターンシップの取り組みを通して、地域から学び、生き方を育む学びについてご紹介します。

1

将来、何がしたい？ 能勢のキャリア教育とは

能勢町では、子どもたちが自らの将来について主体的に考え、社会で活躍するための力を育む学びを大切にしています。先月9月2日（火）から3日間、能勢ささゆり学園8年生がキャリア教育の一環として「地域事業所インターンシップ」を実施しました。

今年で3年目になるこの取り組みは、単なる職場体験とは一線を画す、能勢町独自の教育プログラムです。事前に行きたい事業所を決め、その事業者が抱える「課題」について知り、調べます。そして、自分なりに考えた課題解決のためのアイデアを持って、事業所を訪問し、職場体験を行っています。



2

地域事業所インターンシップは、能勢で働く人の「生き様」にふれる貴重な体験



地域の大人たちが職場でどのように働いておられるか。実際、職場を訪問し、直接体験しながら学んでいます。3日間という短い期間ですが、仕事に対する思いや願い、経営理念や経営哲学、職場で大切にしていること、この仕事に就きたいと思った動機などについて学ぶことができます。

以前は、町外の事業所でも実施していましたが、町内に限定しました。その理由は、変わりつつある能勢のくらしの中で、教職員が町内の事業所の魅力を再度見つめ直し、これからの地域教育の可能性や地元から学ぶ価値を捉え直し、能勢愛のマインドをもった事業所の方々の人となりに触れて、生徒が成長する機会をつくりたいと考えたからです。

この取り組みを通じて、いつでも事業所を繰り返し訪問することができ、日ごろから自然体でお付き合いできる関係を作りやすくなることも、町内に限定するメリットになると考えています。他にも卒業後もアルバイトなどで繋がりやすいとか、学校の仲間や家族にもすぐ紹介できて、簡単に行くことができる利点も挙げられます。

インターンシップを始めた2年前、商工会の総会に出向き、趣旨説明と生徒の受け入れをお願いしました。

事業主の方々は、学校の思いを受けとめてくださり、結果、約100か所以上の事業所にエントリーしてくださいました。1年目は39か所、2年目は54か所、3年目は28か所の事業所にお世話になっています。



先日、インターンシップ実施期間中に事業所を訪問させていただきました。どの子どもたちも、挨拶、礼儀作法を始め、仕事の仕方、作業の内容、接客の仕方などを教えていただきながら、仕事場で持てる力をふりしぼり、自分の役割を果たそうと積極的に動く姿が見られました。真剣に作業に向かう目は、本当に生き生きとしていました。

私自身も、毎年、実際に訪問してみて初めて知ることも多く、事業主の思いに触れて元気がもらえます。能勢の事業所の魅力は、千差万別で、多種多様です。能勢の人たちは、本当に温かく、心が広い方ばかりです。



3

自らの意志で行きたい事業所を選択することに意義がある



来年8年生は義務教育の最終年度を迎えます。多感な時期だからこそ、将来について悩むことも多いです。進路はいずれ決めなければならない時が必ず来ます。だからこそ、自分で悩みながらも選んで決めることが大切だと考えています。

インターンシップで、事業所の方と出会い、自分を見つめ直し、仲間が経験したことを学び合う中で、自分が次に何をしなければならないかを考える機会にしてほしいです。ここに地域事業所インターンシップ学習の根源的なねらいがあります。だからこそ、「行きたい事業所を自分で選ぶこと」を第一義の目標としています。

4

地域の事業所の方のご苦労と生の声

毎年、「3日間、どんな体験をさせようか。いつも悩みます。」という事業所からの声をいただきます。生徒を3日間受け入れることは、本当に容易なことではありません。事業主の知恵と工夫によって、生徒はとても貴重な体験をさせていただいています。事業所の方々からいただいたご意見の一部を紹介します。

若い発想力が職場に新しい風を吹き込んでくれるかもしれない

考案してくれた新メニューが、お客様に大変好評で、リピーターが増えました。収益金の一部を学校へ寄付します。

事業所の課題解決のために提案してくれた社員の健康づくりがとても斬新で、そんな発想はなかった。ちょっとやってみようと思っていきます。

提案してくれたSNSへの情報発信を行ったところ、一気にフォロワーが増えた。

インターンシップをしている事業所があることを地域の方にもっとPRしてほしい。

「受け入れがわかるように、のぼりやポスターなどを貼ってほしい。」



能勢ささゆり学園の校区は能勢町全域になります。町内には、いろんな経験をされた方、技術をお持ちの方がたくさんおられます。この方々の協力のおかげで、子どもたちは、様々な教育活動が展開できています。

能勢ならではの地域との学習は「グローバル能勢」という名前をつけて、地域の魅力を発見し、地域の課題を考え、その課題を解決する学びとして、カリキュラムをつくっています。

8年生の地域事業所インターンシップの学習に至るまでに、様々な地域学習を積み上げています。

校長時代、9年生と進路面談をしたときに、必ずといっていいほど、インターンシップのことが出てきました。最も記憶に残る体験として生徒が自分の言葉で生き生きと語ってくれました。（いくつかを下に掲載します）

これらの体験は、将来になりたい自分を見つめ考える上で、代え難い貴重な実体験の場になっていることを物語っています。

学年	「グローバル能勢」におけるテーマ	学習内容
1年	遊びたい！～のせの草花遊び・音遊び～ のせをたんけん！	生き物・植物・遊び
2年	～学校のまわりやしぜん～ ～能勢の「お宝」を見つけよう！～	季節見つけ・栽培・町たんけん
3年	守りたい能勢 ～わたしたちの願いとくらし～	校区・仕事・むかし
4年	産業と人々の工夫 ～ものづくり能勢～	願い・公共施設 自然環境・福祉
5年	ゆたかなあゆみと平和な世の中 ～能勢の歴史～	米づくり・産業
6年	今、自分にできること ～地域の魅力再発見～	歴史・平和・伝統文化・夢
7年	もちあじはみんなのたからもの ～ちがいを豊かさ～	防災・福祉・ボランティア
8年	命の尊さと自分の生き方 ～戦争・平和・未来～	LGBTQ・SDGs
9年		世界平和・道徳

昼食が作れない一人暮らしの高齢者にお弁当を配り、声掛けて喜んでもらえた。

農産物を売るためにInstagramに載せると提案したら、一気にフォロワーが増えた。

枯れた竹やいらなくなった木材を再利用して道具として加工して使えるようにする知恵を教わりました。

能勢町でおこなっている地域学習やインターンシップなどのキャリア教育は、子どもたち一人ひとりに寄り添った「自分さがし」と「未来へつながる」学習です。私たち大人が子どもの思いを受け止め、それぞれの個性や情熱を温かく見守り、子どもたちが様々なことに挑戦できる環境を整えることが大切です。

教職員は縁があって能勢町の学校で勤務しています。保護者や地域の方々と様々な出会いがあります。地域めぐり、地域学習、総合的な学習、社会科や理科や生活科など、能勢町で行っている地域学習の大きな流れを知り、能勢の過去・現在・未来を見据えて、能勢っ子の育成に力を注いでほしいと思います。

子どもたちには、将来、能勢に住みたいと思ってくれるようにと願っています。

たとえ、能勢を離れたとしても、能勢での学びや人とのつながりを大切にしてほしいと願っています。

そして、いつか、また、ふるさとに「帰ってきてほしい」と心から願っています。

子どもたちの未来を応援するために能勢の教育ができることをさらに追究して、まちづくりにいかしてまいります。



この「教育長だより」について、ご意見や感想がありましたら、ぜひお聞かせください。

[教育長だよりご意見ご感想フォーム](#)